



(証券コード 6087)

個人投資家様向け 会社説明会 (2018年9月期第3四半期)

2018年8月24日



株式会社アビスト

〒165-0026 東京都中野区新井二丁目6番13号 第2宗像ビル
TEL03-5942-4649 URL <http://www.abist.co.jp>

I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2018年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等

創業の精神、社名「ABIST」について



創業の精神

設計技術者が
設計技術者のために働き合う
設計技術者の集団を確立する

社名の由来

Ambition
ist

志(こころざし)を
成し遂げる人

事業目的、経営理念

当社は事業の基本方針を定めた3つの事業目的を掲げ、
長期的、普遍的な会社の価値観、存在理由として3つの経営理念を定めています。

事業目的

- 取引先の信頼と安心の確保に
基づくサービスの提供
- 社員の生活向上と安定の確保
 - コンプライアンス、
CSRの遵守と社会貢献

経営理念

顧客主義

取引先との共生によるパートナーシップの確保

社員主義

社員の自主自律による価値創造の確保

成果主義

機会平等と評価公平性の確保

「信頼の和の六輪づくり」

当社の大切な企業文化として、「信頼の和の六輪づくり」に取り組んでいます。



会社概要

会社名	株式会社アビスト (英訳名 ABIST Co.,Ltd.)
設立	2006年3月17日(事業開始日 1998年2月1日)
資本金	1,026百万円
本社	東京都中野区新井二丁目6番13号 第2宗像ビル
代表者名	進 勝博
事業内容	工業設計技術サービス事業 【請負、技術者派遣】(機械設計開発、システム・ソフトウェア開発、電気・電子設計開発、3Dプリント造形サービス)、3D-CAD教育事業、不動産賃貸事業
事業部及び事業所	【東日本事業部】 東京支店、宇都宮営業所 【システム事業部】 【東日本受託設計事業部】 東京受託室、宇都宮受託チーム、海老名試作事業所 【西日本受託設計事業部】 名古屋受託室、静岡受託チーム、浜松受託チーム、広島受託チーム 【第一トヨタ事業部】 トヨタ内装・電子システム支店、静岡営業所 【第二トヨタ事業部】 トヨタボデー支店、福岡事務所 【西日本事業部】 名古屋支店、京都営業所、広島支店 【3Dプリント事業部】
従業員数	1106名 (2018年6月30日現在、アビスト単体)
子会社	株式会社アビストH&F(100%連結子会社)



会社沿革

年月	事項
1998年 2月	旧日本ビジネス開発株式会社 エンジニアリング事業本部を設置し、技術系のアウトソーシング事業開始
2006年 3月	JBSエンジニアリング株式会社(現株式会社アビスト)を設立し、旧日本ビジネス開発株式会社よりエンジニアリング事業譲受
2007年 2月	株式会社アビストに商号を変更
2010年 5月	本社ビル(アビストビル)の購入に伴い本社を東京都渋谷区に移転
2013年 3月	子会社として株式会社アビストH&F(現連結子会社)を設立
6月	本社事務所を東京都中野区に移転し、アビストビルは全館賃貸ビル化
12月	東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場 本社を東京都渋谷区から東京都中野区へ移転
2014年 9月	東京証券取引所市場第二部へ上場市場変更
2015年 3月	3Dプリント事業を開始(神奈川県海老名市) 東京証券取引所市場第一部銘柄に指定
2017年 6月	受付電話ロボット「abitel(アビテル)」発売開始(コミュニケーションロボット開発・販売事業)
7月	3Dプリント事業拠点を新規開設(愛知県豊橋市)
2018年 3月	品質マネジメントシステム「EN 9100:2016」を認証取得[認証事業所:3Dプリント事業部(愛知県豊橋市)]
5月	コミュニケーションロボット開発・販売事業より撤退



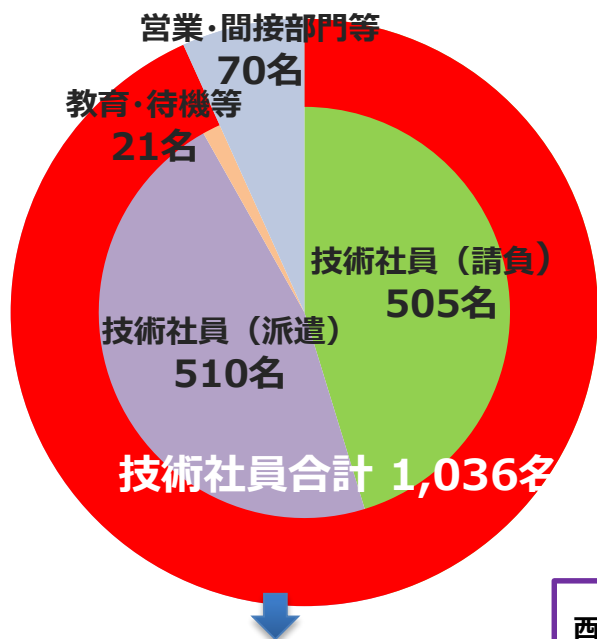
8事業部の事業運営体制 (2018年6月30日現在)

地図 CraftMAP

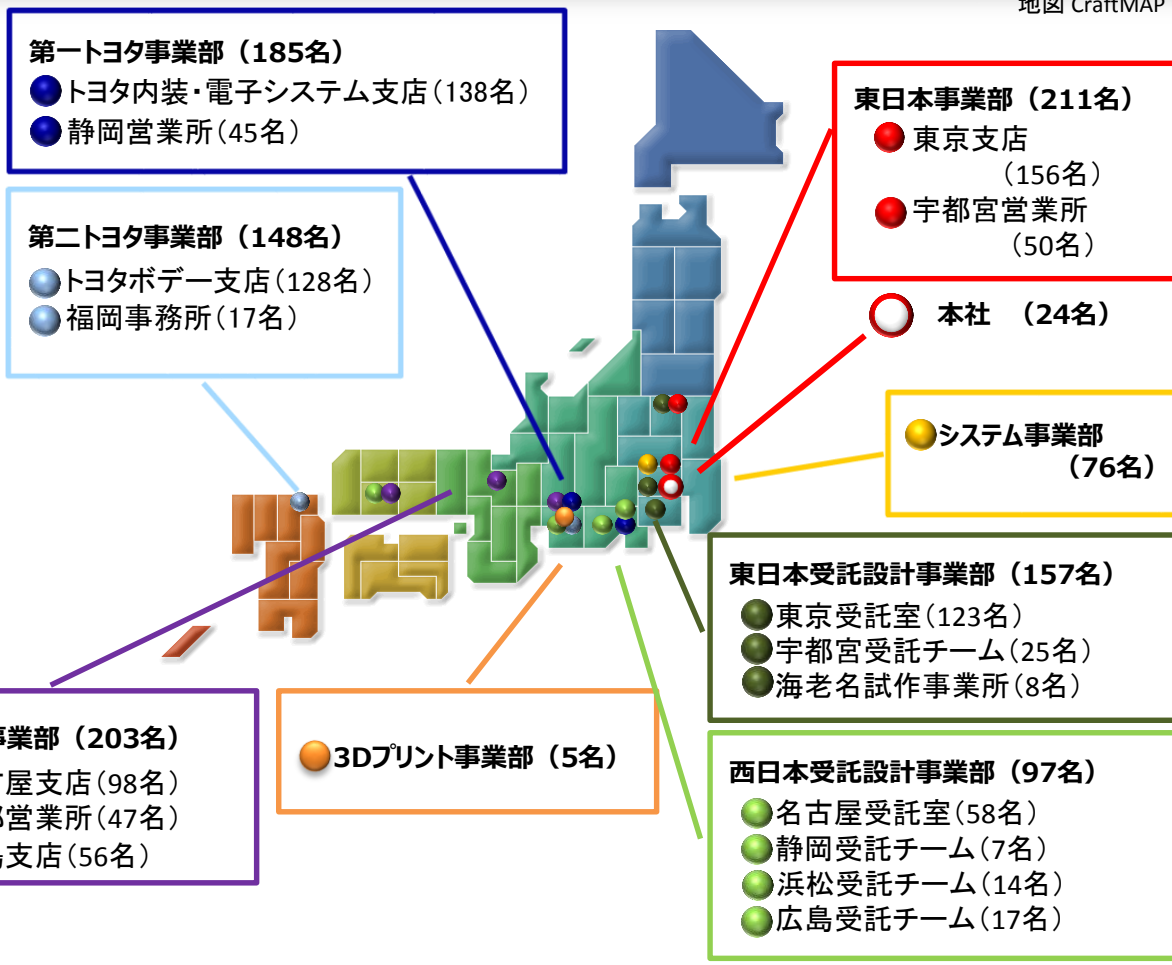
従業員構成 (アビスト単体)

(2018年6月30日現在 1,106名 うち女性社員103名)

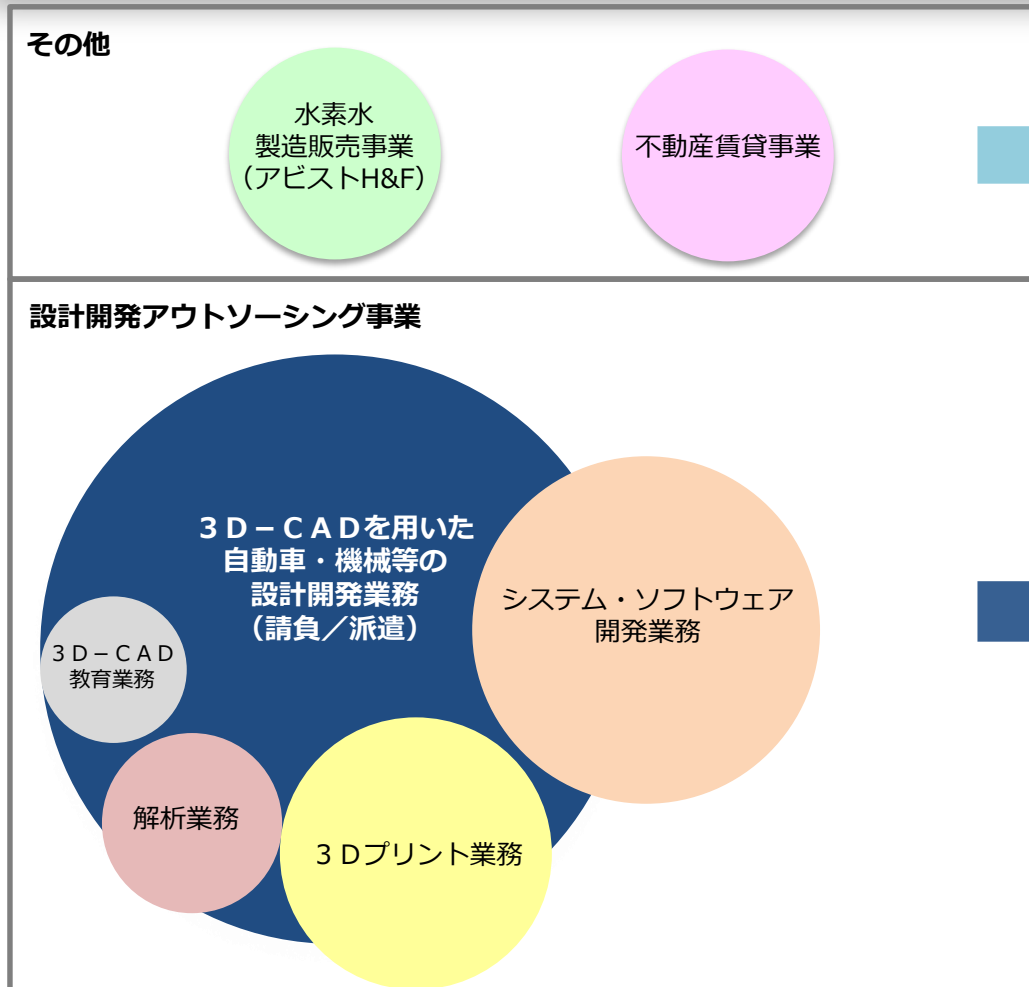
2018年度新卒社員数 82名



機械設計開発等	933名
システム・ソフトウェア開発等	82名
教育・待機等	21名
技術社員計	1,036名
	(うち女性社員 80名)

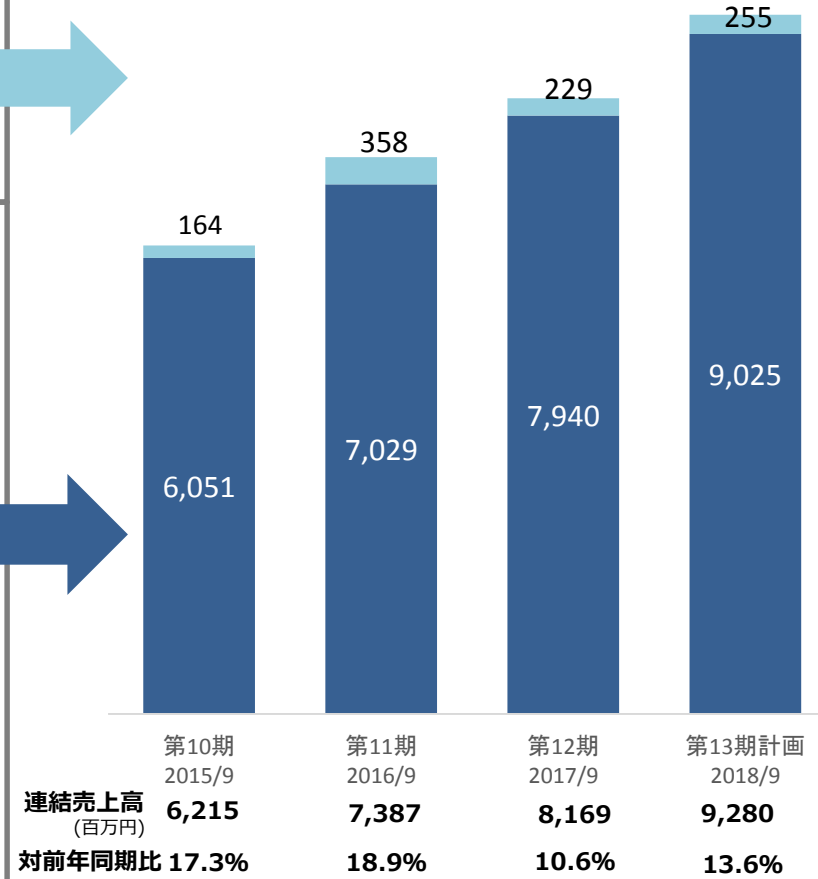


アビストグループの事業内容



連結売上高

(単位：百万円)

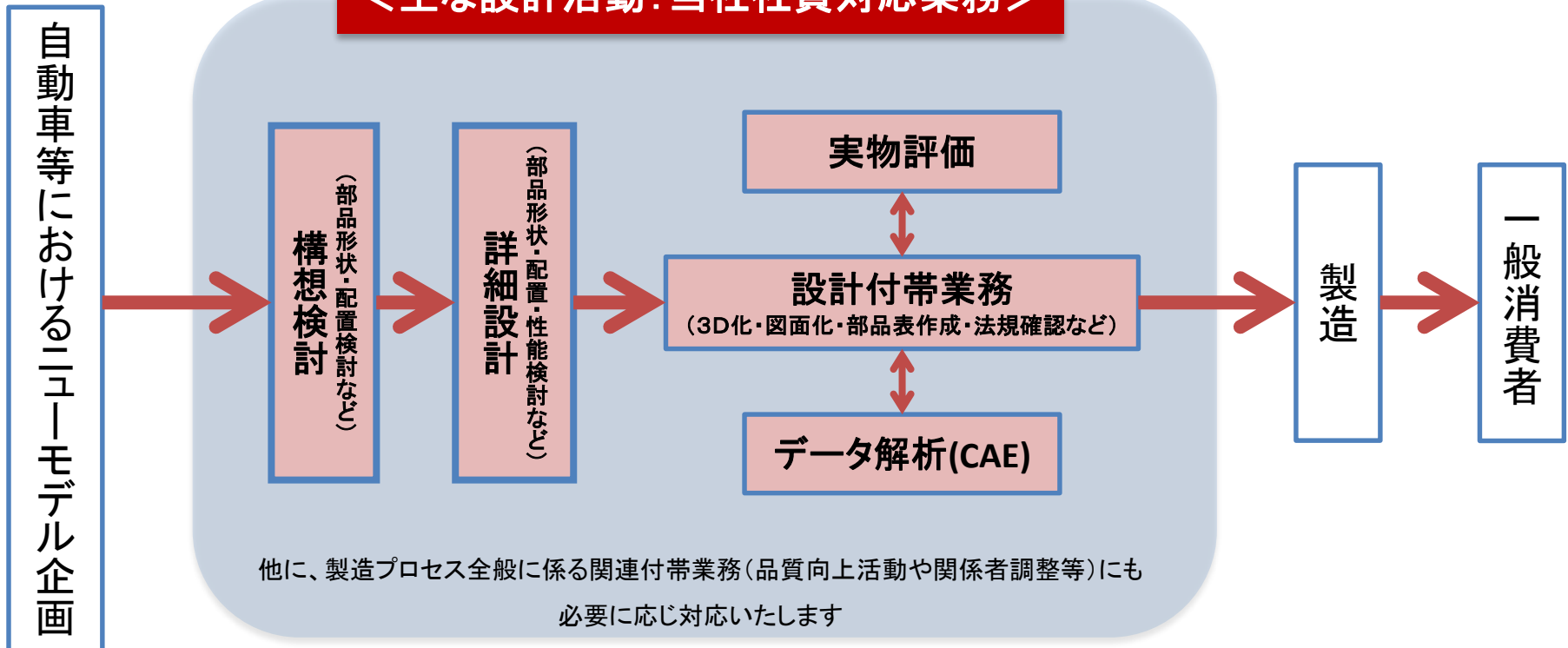


設計開発アウトソーシング事業とは

(設計開発/作図・CADオペレーション/解析・シミュレーション/評価・試験/生産技術・設備設計等)

◆3D-CADを主とした設計及び多様な付帯業務もカバー

<主な設計活動:当社社員対応業務>



得意分野は自動車用ランプ、内装、ボデー設計

ランプ



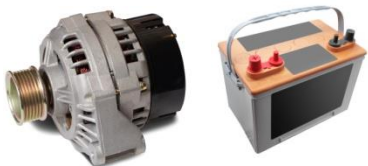
機能部品



ボデー



HV・EV
関連



内装



電装部品

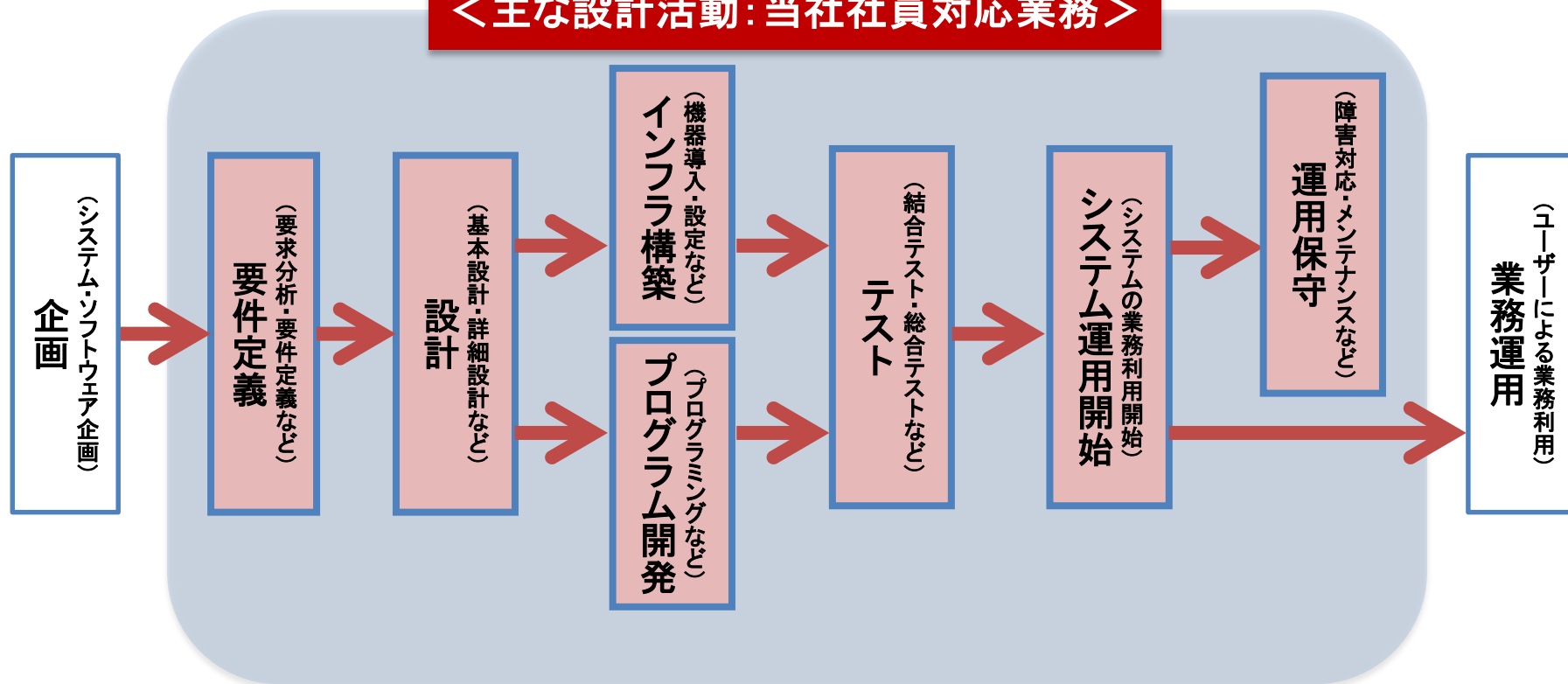


設計開発アウトソーシング事業とは

(システム・ソフトウェア開発)

◆要件定義から運用保守まで広範囲な業務プロセスをカバー

＜主な設計活動：当社社員対応業務＞



I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2018年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等



前年同期比で増収増益(連結)

第13期2018年9月期第3四半期(実績)

【連結】	2017年9月期 第3四半期 (百万円)	2018年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)	対通期計画 達成率 (%)	2017年9月期 通期 実績 (百万円)	2018年9月期 通期 計画 (百万円)	対通期計画 増減率 (%)
売上高	5,962	6,464	8.4	69.7	8,169	9,280	13.6
営業利益	1,063	1,166	9.7	69.0	1,494	1,689	13.1
経常利益	1,058	1,186	12.0	69.5	1,492	1,707	14.4
当期純利益	716	(※) 767	7.2	66.7	966	1,151	19.2
EPS(一株当たり利益)	180.03	192.93	—	—	242.82円	289.45円	—

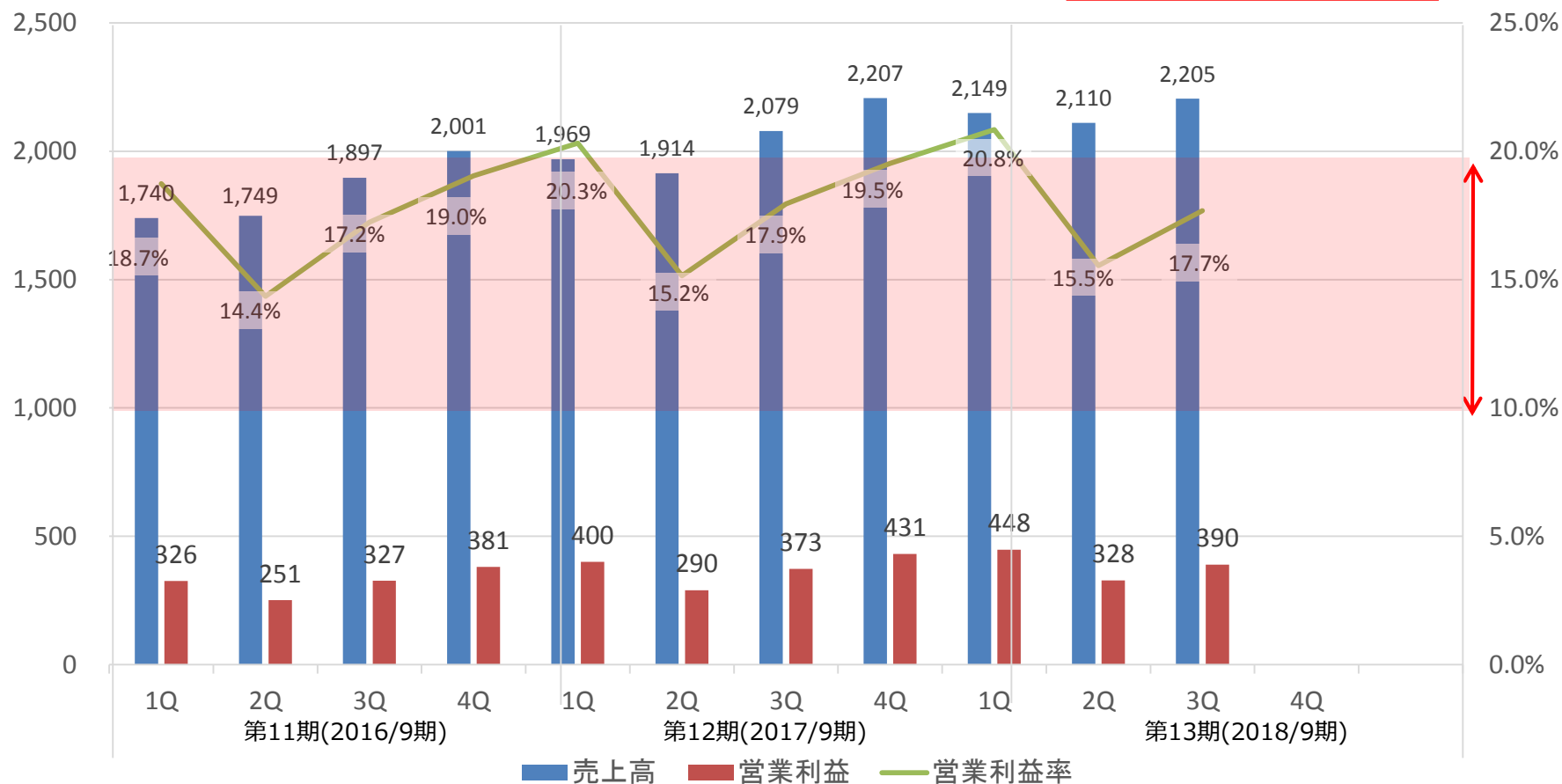
(※) コミュニケーションロボット開発・販売事業の撤退に伴う損失として
67百万円を特別損失として計上致しました。

【単体/連結子会社】	アビスト(単体)			アビストH&F(連結子会社)		
	2017年9月期 第3四半期 (百万円)	2018年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2017年9月期 第3四半期 (百万円)	2018年9月期 第3四半期 (百万円)	対前年 増減率 (%)
売上高	5,804	6,360	9.6	194	135	△30.6
セグメント利益(営業利益)	1,082	1,186	9.5	△19	△19	—



四半期連結業績推移

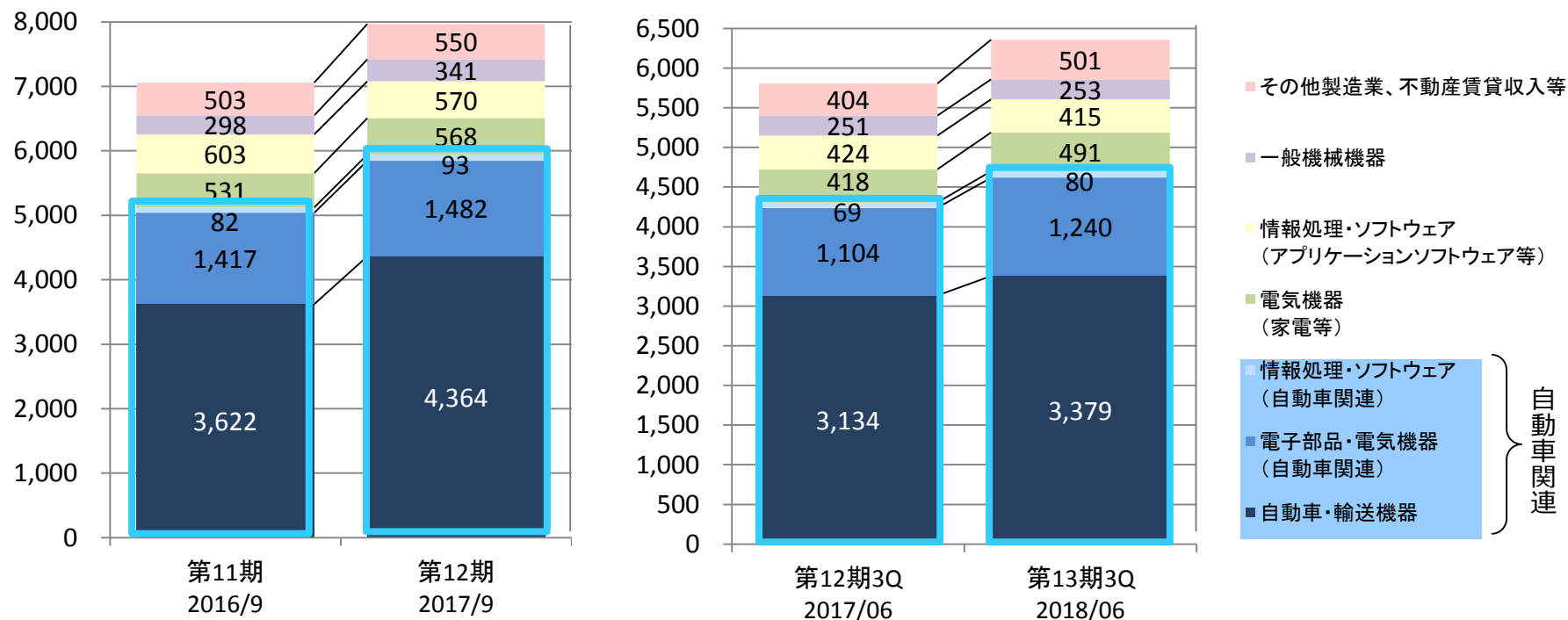
✓ 毎四半期において二桁の営業利益率を維持 (10.0%~20.0%)



取引先業種別売上高の推移 ～ 自動車関連の好調が続く

単位: 百万円

【取引先業種別売上高の推移】 (アビスト単体)



売上高合計	7,059百万円 (+976)+16.1%	7,972百万円 (+911)12.9%	5,804百万円 (+662)+12.9%	6,358百万円 (+554)9.5%
(うち自動車関連)	5,122百万円 (+834)+19.5%	5,940百万円 (+817)16.0%	4,307百万円 (+618)+16.7%	4,699百万円 (+392)9.1%
総売上中構成比	72.6%	74.5%	74.2%	73.9%



取引先上位10社 ～ 自動車関連を中心とした上位取引先が安定

※アビスト単体

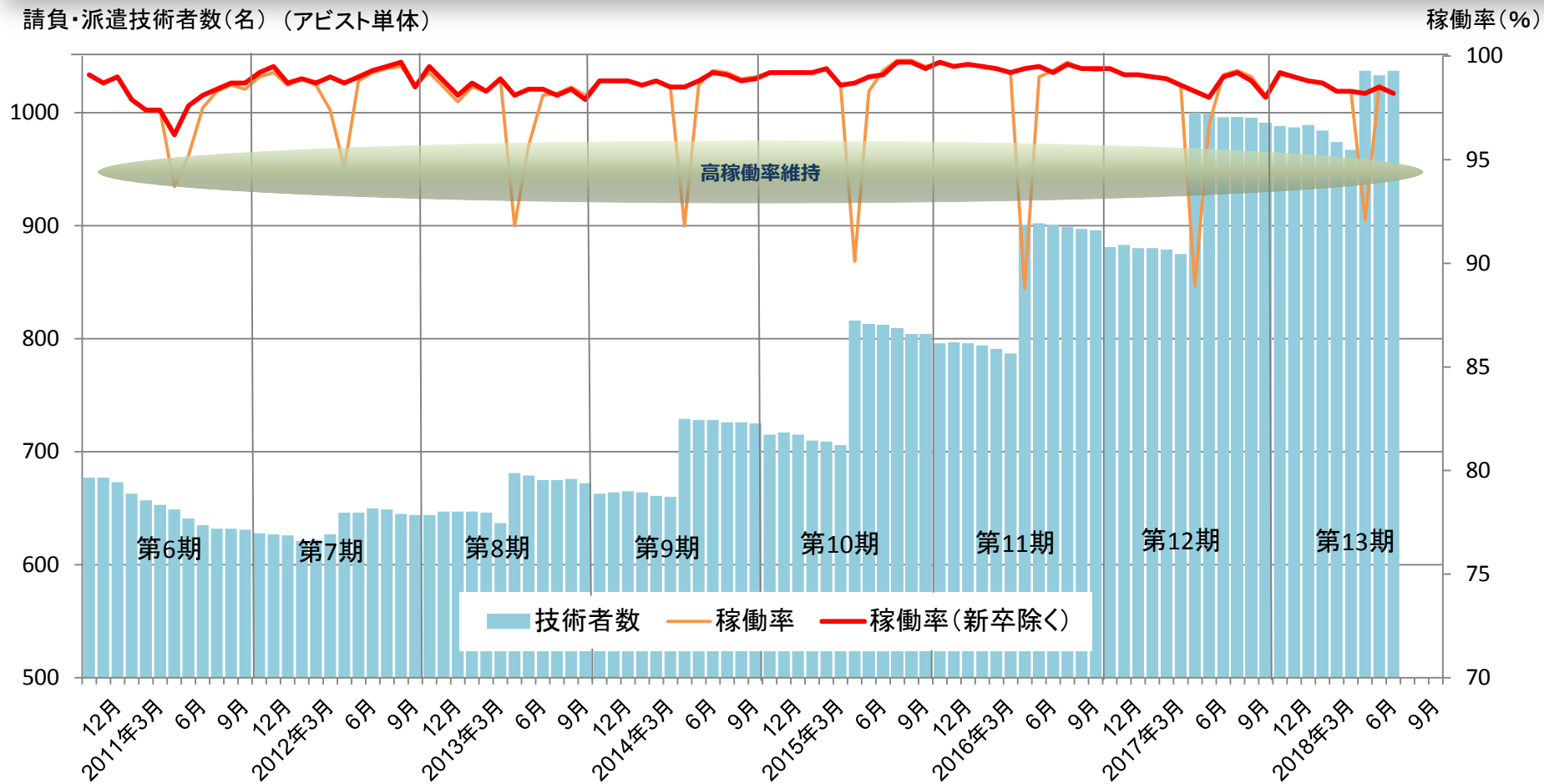
第11期 (2016/9)	第12期 (2017/9)	第13期3Q (2018/6)
トヨタ自動車様	トヨタ自動車様	トヨタ自動車様
スタンレー電気様	スタンレー電気様	スタンレー電気様
トヨタ自動車東日本様	日野自動車様	日野自動車様
日野自動車様	小糸製作所様	小糸製作所様
小糸製作所様	トヨタ自動車東日本様	トヨタ自動車東日本様
日立ソリューションズ・クリエイト様	三菱電機エンジニアリング様	三菱電機エンジニアリング様
三菱電機エンジニアリング様	市光工業様	市光工業様
市光工業様	日立ソリューションズ・クリエイト様	MHIさがみハイテック様
MHIさがみハイテック様	MHIさがみハイテック様	本田技術研究所様
本田技術研究所様	本田技術研究所様	日立ソリューションズ・クリエイト様
4,928百万円	5,604百万円	4,314百万円
69.8%	70.3%	67.8%



— 業績の状況 (2018年9月期第3四半期) —

技術者数・稼働率推移 ～ 高稼働率を維持

請負・派遣技術者数(名) (アビスト単体)

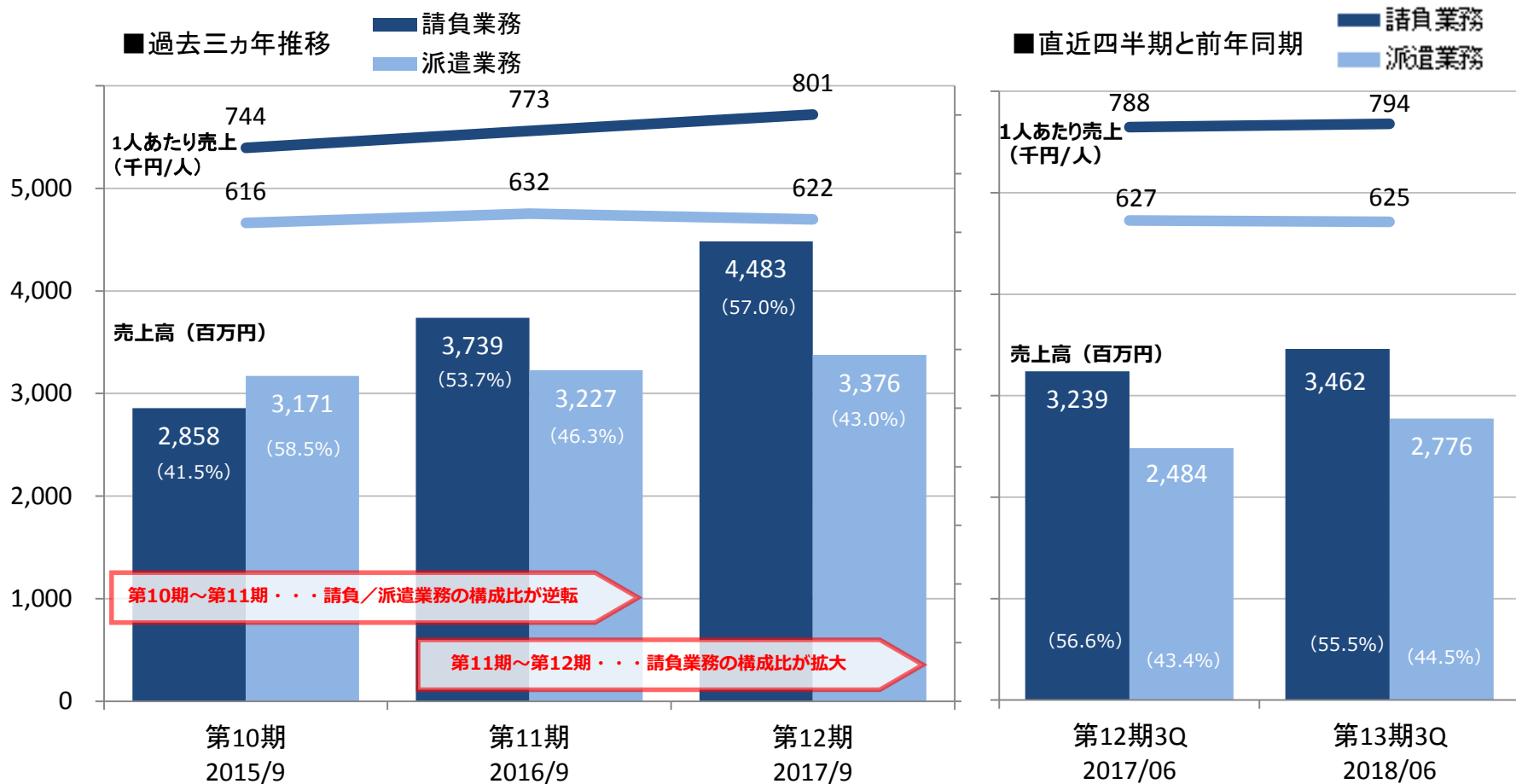


※技術者数=請負+派遣+待機、技術者数は教育研修中の者を除く。
 ※稼働率=(請負+派遣) / (請負+派遣+待機)



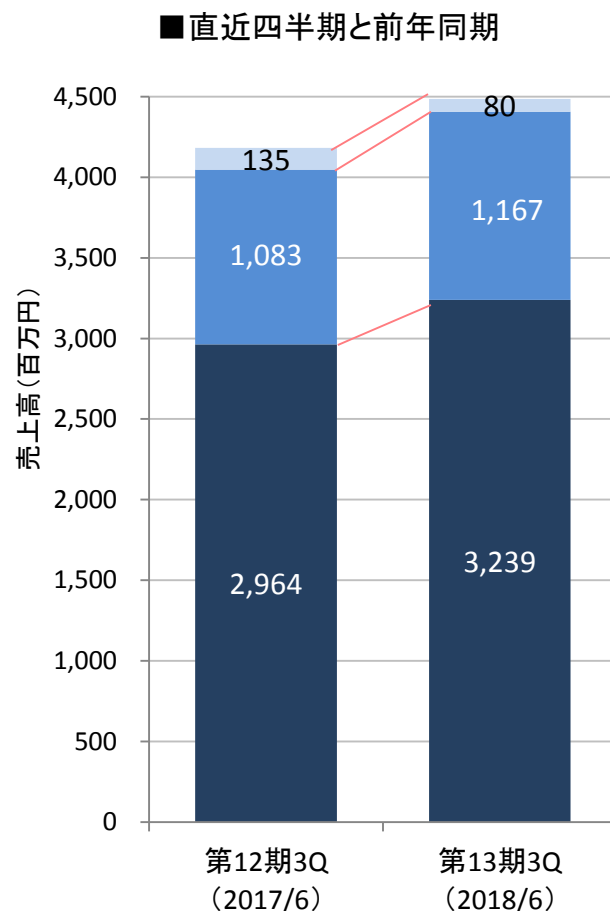
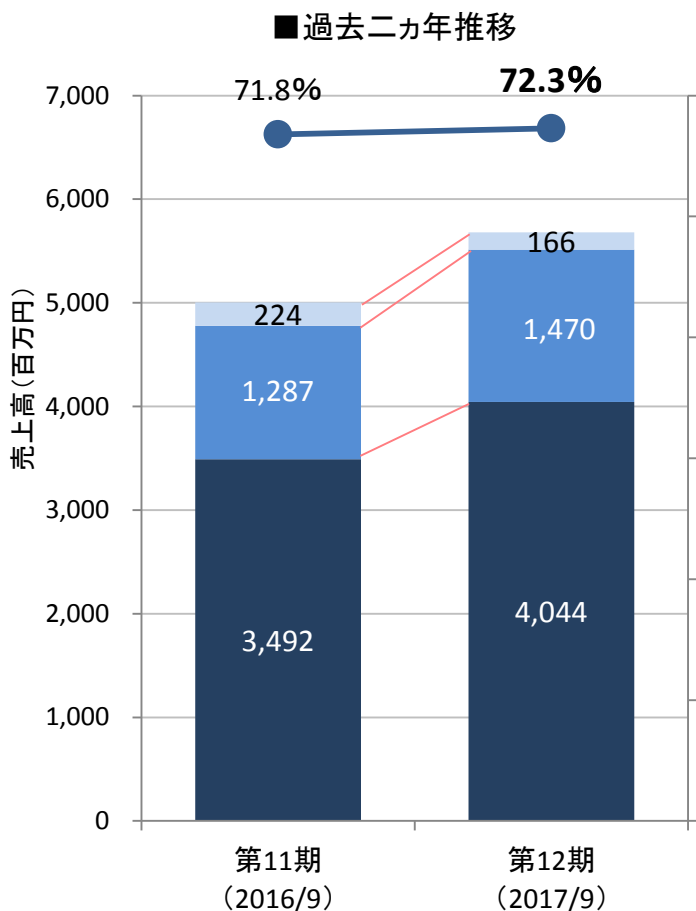
高付加価値の請負業務も堅調な伸び

派遣・請負別売上高、一人月売上高の推移 (アビスト単体)



得意業務領域(コア技術領域)も拡大中

技術領域別売上高の推移(アビスト単体)



- 第3領域
〔シャシー部品、空調部品設計開発〕
- 第2領域
〔電装部品、機能部品、HV・EV関連設計開発〕
- 第1領域
〔自動車用ランプ、内装、ボデー設計開発〕
- 売上高構成比

※速報値であり、確定決算ベースの数値と若干異なります



I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2018年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等

主力事業の好調により最高益更新を目指す

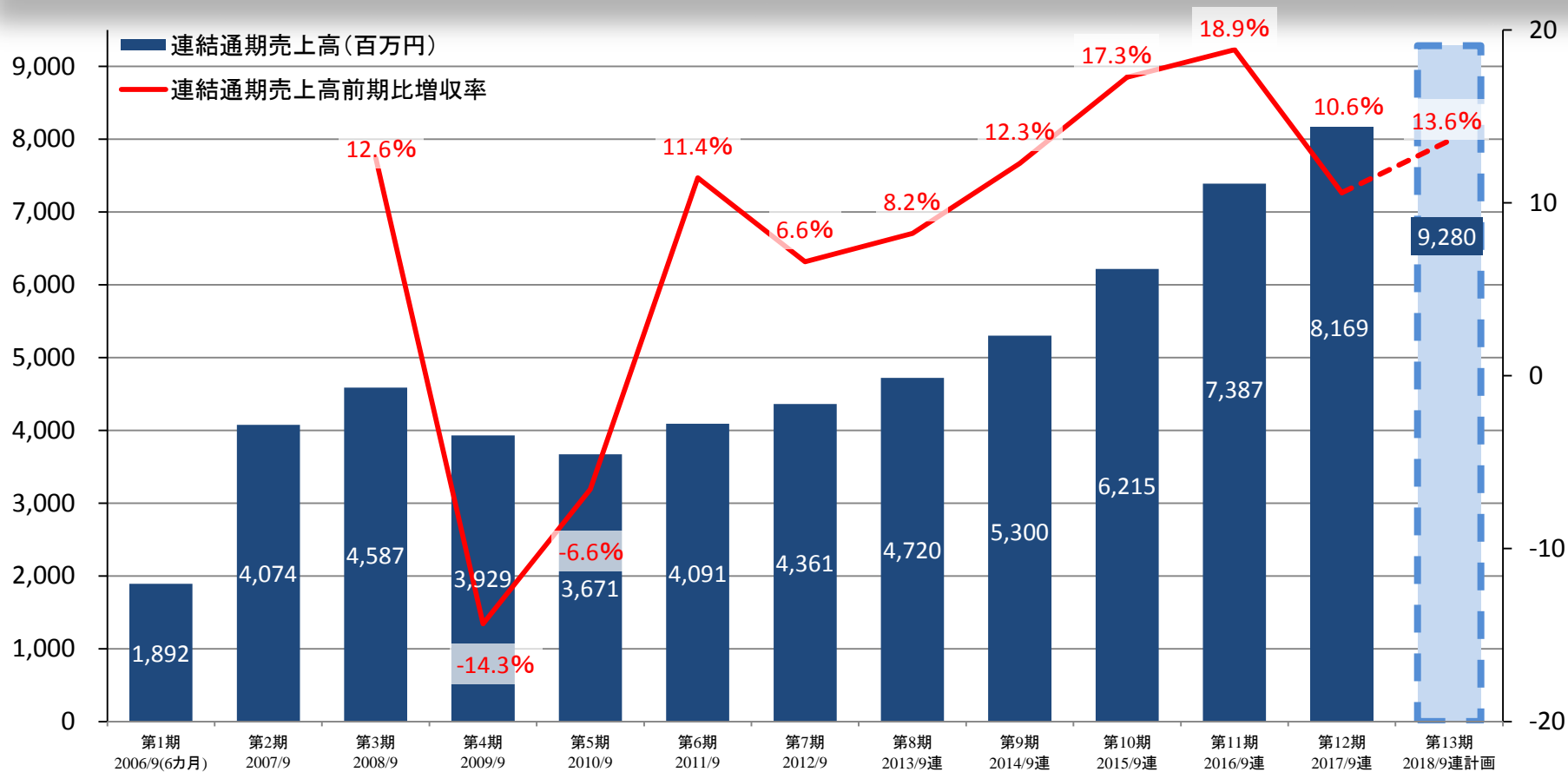
第13期 2018年9月期 通期計画

【連結】	2017年9月期 通期 実績 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2018年9月期 通期 計画 (百万円)	対前年 増減率 (%)
売上高	8,169	10.6	9,280	13.6
営業利益	1,494	16.2	1,689	13.1
経常利益	1,492	15.4	1,707	14.4
当期純利益	966	12.1	1,151	19.2
EPS(一株当たり利益)	242.82円	—	289.45円	—

【単体／連結子会社】	アビスト(単体)				アビストH&F(連結子会社)			
	2017年9月期 通期 実績 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2018年9月期 通期 計画 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2017年9月期 通期 実績 (百万円)	対前年 増減率 (%)	2018年9月期 通期 計画 (百万円)	対前年 増減率 (%)
売上高	7,972	12.9	9,057	13.6	259	△35.5	279	7.6
経常利益	1,519	14.2	1,706	12.3	△24	—	0.63	—
当期純利益	767	△14.8	1,151	50.2	△126	—	0.01	—

— 今後の成長戦略 —

売上高・増収率推移 ～ 8期連続増収、過去最高売上達成の見通し



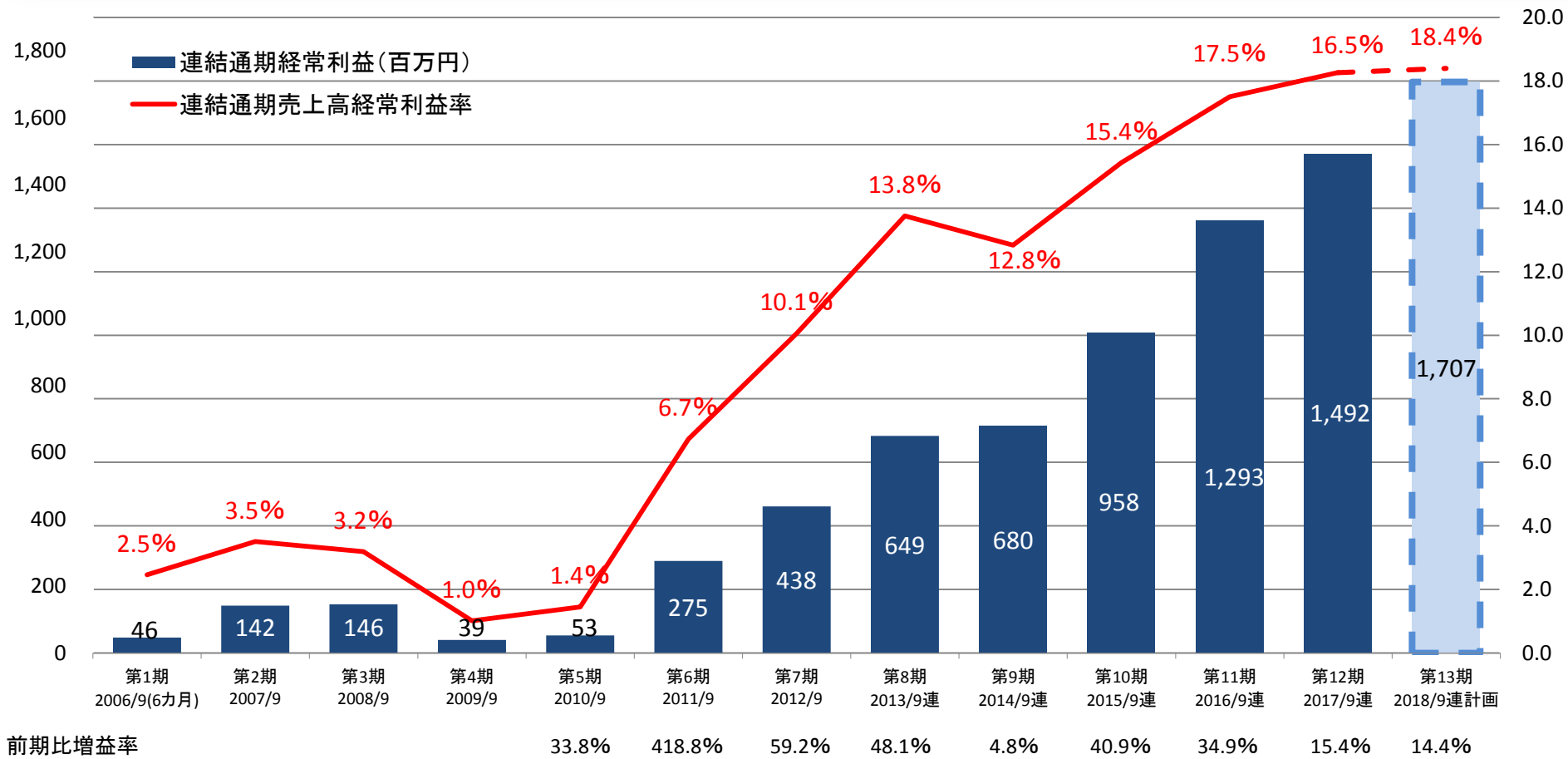
※当社では、第8期(連結)の業績・財務情報より開示しておりますが、参考のため第8期以前の情報を記載しております。また、第8期以前は非連結、第8期以降は連結ですが同一グラフ上に記載しており、第8期(連結)は、前年同期(非連結)と比較した増収率を記載しておりますのでご注意ください。

※稼働率=(請負+派遣)/(請負+派遣+待機)、技術者数=請負+派遣+待機、技術者数には教育を含んでおりません。

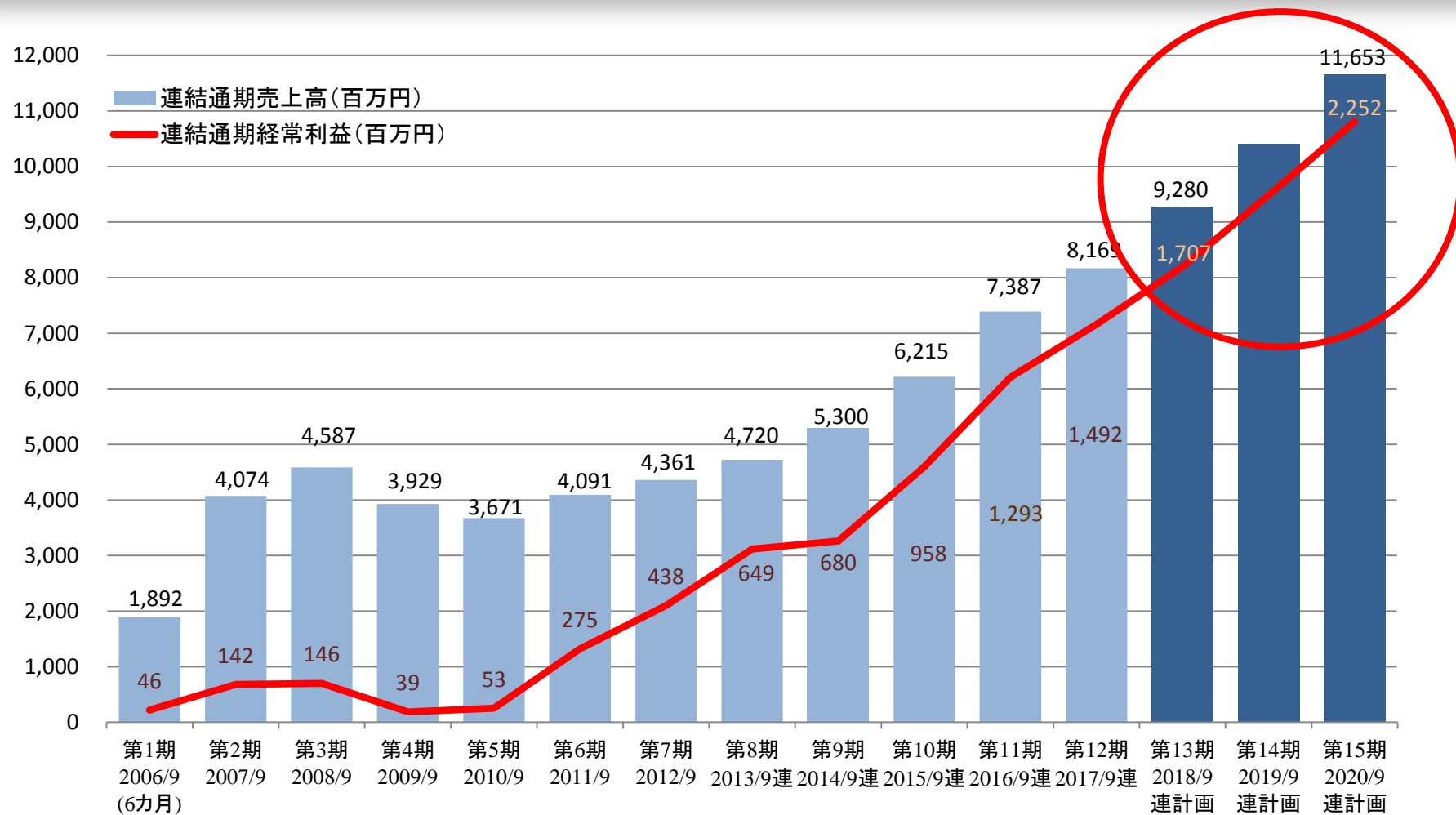


— 今後の成長戦略 —

経常利益・増益率推移 ～ 9期連続増益、過去最高益達成の見通し

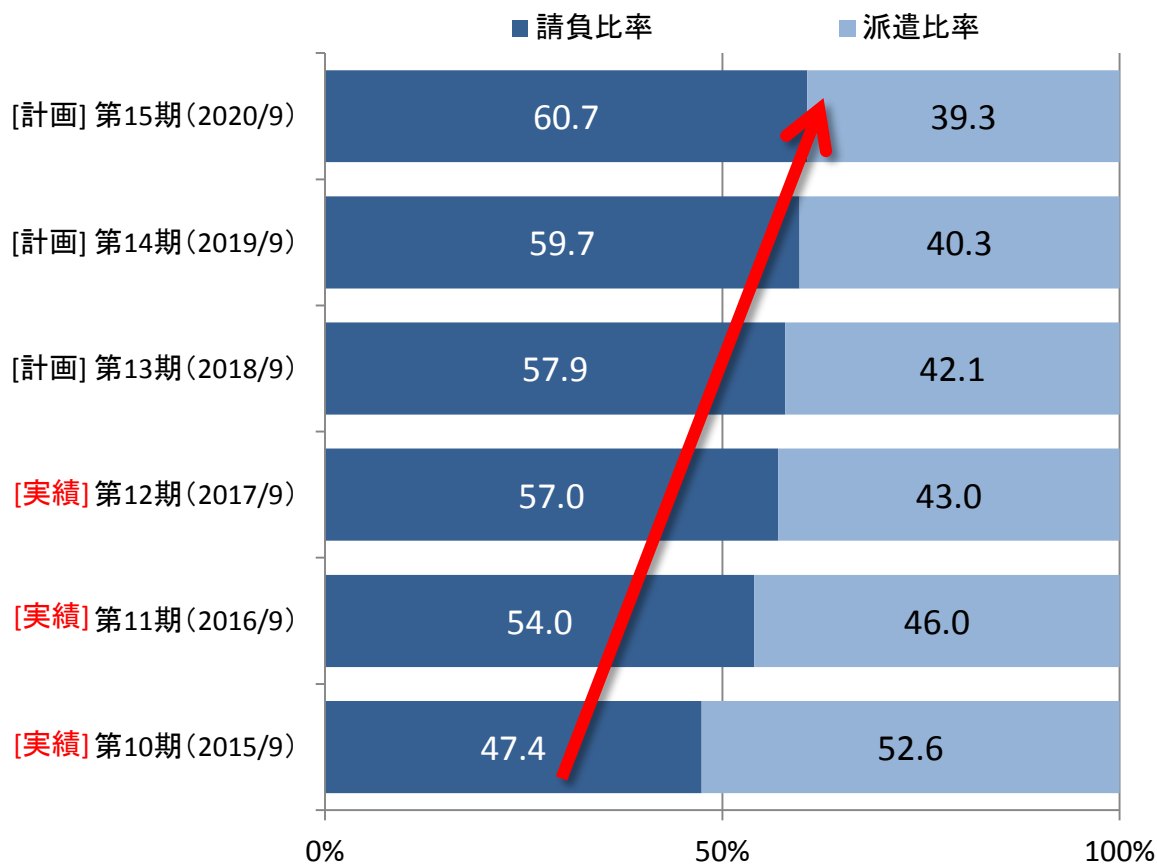


2020年9月期中期経営計画 売上高116億円・経常利益22億円



高付加価値の請負業務拡大による収益基盤強化

派遣・請負売上高の構成比率 (アビスト単体)



中期経営計画

成長力の維持を目標とした
自社収益構造の変革

(成長戦略)
付加価値が高い
請負業務比率の拡大

(中期経営計画)
第15期 2020/9期
請負60.7%:派遣39.3%

コア業務領域（得意分野）を伸ばし、環境変化に対応

第1コア業務領域・・・自動車用ランプ、内装、ボデー関連



第2コア業務領域・・・電装部品、機能部品、HV・EV関連



第3コア業務領域・・・シャシー部品、空調関連

■電動化、自動化、機能化が進む自動車業界大変革の時代においても、当社のコア業務領域の設計開発需要は引き続き旺盛と予測

■コア業務領域売上が設計開発売上全体の7割以上を維持するように中期経営計画を策定

※12期実績：

第1コア業務領域	51.5%
第2コア業務領域	18.7%
第3コア業務領域	2.1%
計	72.3%

設計から試作・部品製造までをワンストップで提供

- ✓ これまで当社が携わってきた「設計」「解析」に加えて3Dプリンタ活用による「試作」「部品製造」領域へ事業領域を拡大し、クライアントへ価値のあるサービスを提供



当社が主力事業を展開する自動車業界をはじめ、新しい領域も拡大中

✓ 航空・宇宙・防衛産業向けの品質規格である EN9100 (JIS Q 9100、AS 9100と同等) の認証を 2018 年 3 月に取得

- EN 9100 (欧州) は、ISO9001 をベースに航空宇宙産業界特有の要求事項を加えて策定されたISO9001のセクター規格です。AS 9100 (米国) / JIS Q 9100 (日本) と同じく世界標準の航空宇宙・防衛産業に特化した品質マネジメントシステム規格として制定された規格であり、航空宇宙・防衛産業のグローバルな部品調達基準として採用されています。

登録事業者および事業所 適合規格	株式会社アビスト 3Dプリント事業部(愛知県豊橋市) EN9100:2016  FM 679334 / EN 9100:2016 ※AS9100D(米国)、EN9100:2016(欧州)、JIS Q 9100(日本)は技術的に同等であり、国際相互認証されています。
登録範囲	金属製品の設計及び付加製造サービスの提供
審査登録機関	BSI (British Standards Institution, 英国規格協会)
登録日	2018年3月9日

✓ その他玩具、医療など新領域での取引を開始

幅広いニーズに対応できる設備を導入(予定)

◆保有3Dプリンタ

事業所 (所在)	造形機種 (メーカー)	保有台数	特徴	主材質	造形サイズ(mm) (縦×横×高さ)	用途
海老名 試作事業所 (神奈川県海老名市)	ATOMm-8000 (シーメット(日))	2台	高透明度 高耐熱	エポキシ	600×800×400	自動車用ランプ など試作
	RAFAEL550 (アスペクト(日))	1台	高耐久性 高耐熱	ナイロン	550×550×500	自動車外装/内装部品など試作
	AGILISTA (キーエンス(日))	1台	サポート材が 水溶性	アクリル	210×298×200	精密部品試作
	Connex3 (ストラタシス(米))	1台	硬さ調整可能 3種材料混合 によるカラー対応	アクリル /ゴムライクアクリル	390×490×200	精密部品試作
3Dプリント 事業部 (愛知県豊橋市)	ProX-300 (3Dシステムズ(米))	1台	金属加工可 軽量	アルミ/ステンレス	250×250×300	精密部品試作/製造
	EOS-M290 (EOS(独))	2台	金属加工可/高耐久性 /高耐熱/耐腐食性	チタン/インコネル	250×250×325	精密部品試作/製造
	ProX-320 (3Dシステムズ(米))	3台(※1)	軽量/高耐久性/ 高耐熱/耐腐食性	アルミ/チタン /インコネル	275×275×380	精密部品試作/製造
	LUMEX Avance-25 (松浦機械製作所(日))	1台(※2)	造形と切削を融合した ハイブリッド造形機 高強度/高靱性	マルエージング鋼	256×256×300	精密部品試作/製造

(※1) 2018年10月以降設置予定
(※2) 2018年12月以降設置予定

当社の独自性を訴求、売上安定化により業績貢献へ



株式会社アビストH & F（連結子会社）による
水素水製造販売事業では、
「**浸みわたる水素水**」ならではの**特長**である

1. **日本名水百選に選ばれた熊本県菊池の天然水**
2. **美容成分シリカ72.0mg/ℓ含有**
3. **こだわりの品質管理（ISO9001認証）**
4. **モンドセレクション 金賞受賞
iTQi 優秀味覚賞 三ツ星受賞**

などの差別化ポイントを踏まえた事業展開、および
水素水以外の新商品の開発を進め、業績拡大・安定を
目指しています。



I

会社概要及び事業内容

II

業績の状況(2018年9月期第3四半期)

III

今後の成長戦略

IV

株主還元方針及び株式の状況等

継続的・安定的な配当と株主優待で株主還元

配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして位置づけ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本方針としております。連結配当性向30%を基本的な配当政策とし、配当金額を決定していく方針です。

基準期	年間配当金
平成29年9月期	78円 〔普通配当73円 記念配当5円〕
平成30年9月期(計画)	87円

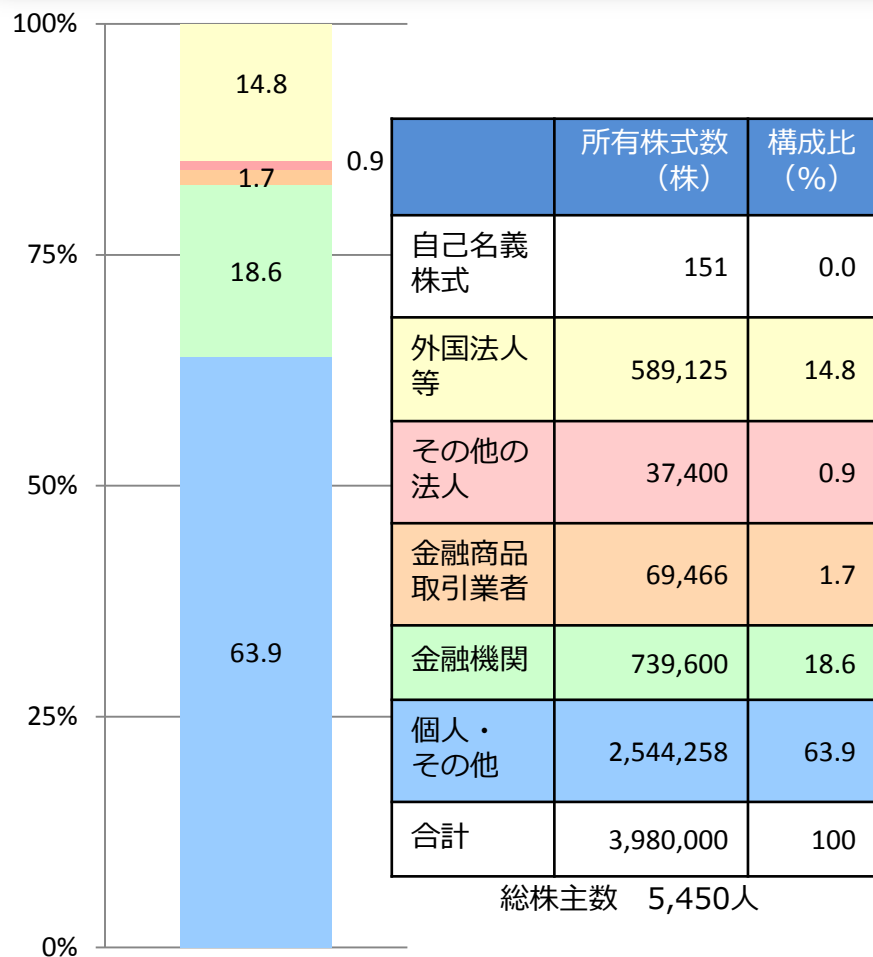
株主優待制度

2018年3月末(中間期末)の株主様に、「浸みわたる水素水」(株式会社アビストH&F製造)を、以下のとおり贈呈させていただきます。



保有株式数 (2018年3月末株主名簿)	「浸みわたる水素水」贈呈数 (500ml × 30本 = 1ケース)
1,000株以上	5ケース
200株以上 1,000株未満	2ケース
100株以上 200株未満	1ケース

総株主数 5,450人(2018年3月末)



【株主名】	【所有株数】	【持株比率】
進 勝博	650,000株	16.3%
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	241,400株	6.1%
ABIST社員持株会	231,800株	5.8%
BNPパリバ証券	185,000株	4.6%
フィデリティ証券	175,000株	4.4%
大宅 清文	100,000株	2.5%
日本生命保険相互会社	100,000株	2.5%
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	95,000株	2.4%
小林 秀樹	90,000株	2.3%
進 顕	75,000株	1.9%
進 里江	75,000株	1.9%

主な株価指標

	当社株価指標		東証1部平均(※)
株価	2018年8月22日終値	3,860円	-
発行済株式数	本資料作成日現在	3,980千株	-
時価総額		15,363百万円	-
EPS(一株当たり利益)	2018年9期(計画)	289.45円	-
BPS(一株当たり純資産)	2017年9期末	1,207.65円	-
配当金	2018年9期(計画)	87.00円	-
PER(株価収益率)	株価÷EPS(計画)	13.34倍	14.47倍
PBR(純資産倍率)	株価÷BPS(直近期末)	3.20倍	1.28倍
配当利回り	配当金(計画)÷株価	2.25%	1.77%
ROE(自己資本利益率)	PBR÷PER	23.97%	8.85%

(※)東証1部平均の株価指標は2018年8月22日現在、PBRは実績ベース

当社ホームページのご案内 <http://www.abist.co.jp>

※当社IRサイトでは、株主・投資家の皆様に様々な参考情報をご提供しておりますので、是非ご参照ください。

ABIST
Best Design, Best Partner

本資料は、当社の会社内容に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は作成日現在のデータ等に基づいて作成されており、本資料に記載された意見等は、資料作成時点の当社の判断によるものです。当社は、本資料に記載した情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更されることがありますので予めご了承ください。

(本資料に関するお問い合わせ先)
〒165-0026 東京都中野区新井二丁目6番13号
株式会社アビスト 広報室
TEL 03-5942-4649 E-mail pr@abist.co.jp

